

# 「ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)」

関連用語

● ZEH +

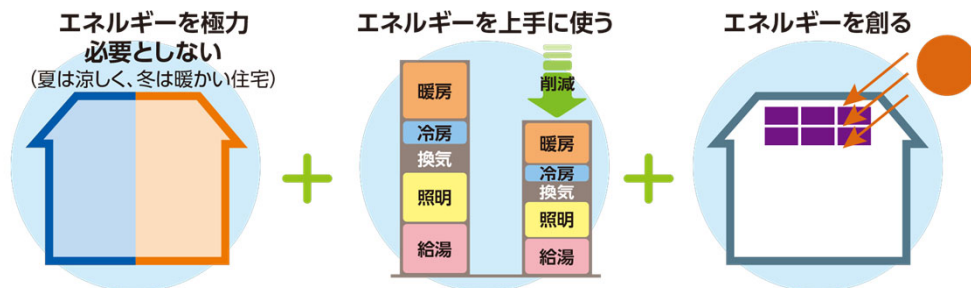
ZEHとは、「外皮の断熱性能等を大幅に向上させるとともに、高効率な設備システムの導入により、室内環境の質を維持しつつ大幅な省エネルギーを実現した上で、再生可能エネルギーを導入することにより、年間の一次エネルギー消費量の収支を正味(ネット)でゼロ以下とすることを旨とした住宅」です。

東日本大震災後、家庭部門における省エネルギーの重要性が再認識され、「エネルギー基本計画」(2014年4月閣議決定)において、「2020年までに標準的な新築住宅※で、2030年までに新築住宅の平均で、ZEHの実現を目指す」とする政策目標を設定しています。

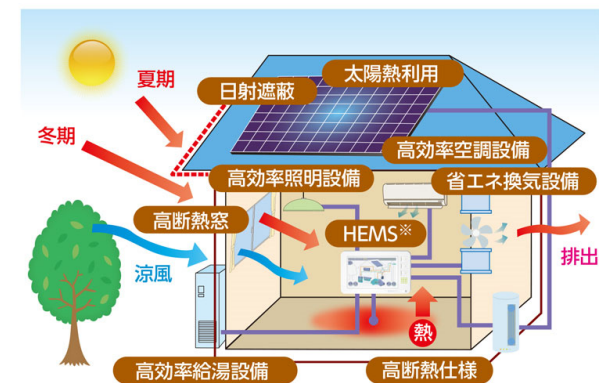
「高断熱基準」、「設備の効率化」で20%以上省エネを満たした上で、太陽光発電等によりエネルギーを創ることで、正味で100%以上省エネを達成したものをZEH、正味で75%以上省エネを達成したものをNearly ZEHと呼んでいます。また、2020年4月に公表されたZEHロードマップフォローアップ委員会のとりまとめにおいて、新たにZEH+などの用語が定義され、「ZEHシリーズの定義」として次頁のように整理されました。

※ 標準的な新築住宅：経済産業省がとりまとめた「ZEHロードマップ」において、「ハウスメーカー、工務店等が作る新築住宅の過半数」とされています。

## ZEHの構成要素



## ZEHの具体的イメージ図



## [別表] ZEHシリーズの定義

分類・通称	要件						
	地域区分	外皮基準(U <sub>A</sub> 値)			省エネ率		その他要件・備考
		1・2	3	4～7	(再エネ除く)	(再エネ含む)	
『ZEH』 (ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)		≤0.40	≤0.50	≤0.60	≥20%	≥100%	・再生可能エネルギー導入 (容量不問。全量売電を除く。)
『ZEH+』		//	//	//	≥25%	//	・上記に加え、※3のうち2項目以上
Nearly ZEH 準(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)		//	//	//	≥20%	≥75% <100%	・再生可能エネルギー導入 (容量不問。全量売電を除く。)
Nearly ZEH+		//	//	//	≥25%	//	・上記に加え、※3のうち2項目以上
ZEH Oriented ゼロ・エネルギー・ハウス指向型住宅		//	//	//	≥20%	—	・再生可能エネルギー未導入も可 ・都市部狭小地又は多雪地域に建設された住宅に限る

※1 外皮については、U<sub>A</sub> 値に加えて、各地域の省エネ基準(η A値、気密・防露性能の確保等の留意事項等)を満足することが要件。

※2 考慮する再生可能エネルギー量の対象は、敷地内(オンサイト)の発電設備からのものに限る。

※3 ZEH+の追加要件は、次の3要素のうち2つ以上。

- (1) 外皮性能の更なる強化 : U<sub>A</sub> 値[W/m<sup>2</sup>K]が地域区分ごとに次の値以下であること。  
1・2:0.30、3～5:0.40、6・7:0.50(4・5地域については、2020年度まで、0.50 以下)
- (2) 高度エネルギーマネジメント : HEMS により、太陽光発電設備等の発電量等を把握したうえで、住宅内の暖冷房、給湯設備等を制御可能であること。
- (3) 電気自動車を活用した自家消費の拡大措置 : 太陽光発電設備により発電した電力を電気自動車等に充電し、又は電気自動車と住宅間で電力を充放電することを可能とする設備を設置し、車庫等において使用可能としていること。